



2023年12月15日

各 位

会 社 名 株式会社 GENDA
代 表 者 名 代表取締役社長 申 真衣
(コード番号：9166 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 渡邊 太樹
(TEL 03-6281-4781)

株式会社フクヤホールディングスの株式の取得（完全子会社化）に関するお知らせ

株式会社 GENDA（本社：東京都港区、代表取締役会長：片岡 尚、代表取締役社長：申 真衣、以下「当社」）は、アミューズメント施設向けにプライズゲーム（景品を獲得することを目的としたアーケードゲーム）におけるプライズ（景品）の企画や販売事業等を展開する、国内外4つの子会社を保有する持株会社である株式会社フクヤホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中 敬一郎、以下「フクヤHD」）が発行する全株式を取得し、完全子会社とすることについて、本日開催の取締役会において決議いたしましたことを、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 取得の理由

当社は「世界中の人々の人生をより楽しく」を Aspiration（アスピレーション＝大志）に掲げています。当社グループ会社である株式会社 GENDA GiGO Entertainment（本社：東京都港区、代表取締役社長：二宮 一浩、以下「GENDA GiGO Entertainment」）は、「楽し場®」創造会社（※1）として世界一の楽しい時間と空間「楽し場®」を創造し、提供し続けることをビジョンに、アミューズメント施設を運営しております（当社グループ店舗数は2023年11月末時点で321店舗、うちアミューズメント施設は263店舗）。GENDA GiGO Entertainment では、お客様にさらに楽しいエンターテイメント体験をお届けするため、新規出店、M&Aによるアミューズメント施設の店舗網拡大及びゲーム機やプライズのラインアップの拡充に努めております。

アミューズメント業界においては、2014年以降、特にプライズゲームの売上が拡大傾向にあります。新型コロナウイルスの流行による店舗の休業や時短営業の影響により一時的に市場規模は縮小したものの、2021年度の市場におけるプライズゲームの売上高である3,062億円は、

本日現在データ集計可能な業界過去 16 年間の最高額であること、加えて 2022 年度における当社グループを含む業界大手各社が過去最高の利益を創出していることは、業界全体が新型コロナウイルスによる低迷状態から脱却し、さらなる成長段階に入ったことを示しています。かかる時流を背景に、GENDA GiGO Entertainment では、その市場拡大のトレンドを捕捉するため、プライズゲームへの投資を積極的に行ってまいりました。

フクヤ HD は、日本ではその子会社の株式会社フクヤにより、プライズ、カプセルトイ、くじ等の企画・販売事業を主として展開するほか、海外でも米国子会社の FUKUYA USA INC.、香港子会社の FUKUYA HONG KONG LIMITED 及び台湾子会社の台湾福屋有限公司により、プライズの販売事業等を展開しております。フクヤ HD グループのこれら事業と当社グループのアミューズメント事業との親和性の高さから、フクヤ HD は、2019 年 6 月に中国で設立したアミューズメント施設の運営や機器のレンタル業等を手掛ける当社の連結子会社である伍彩汇业(广州)贸易有限公司に資本参加しているほか、2021 年 8 月には、当社との間でキャラクター関連ビジネスを手掛ける株式会社トーキョー キャラクター メーカーズを共同設立する等、従前より両社間の提携を強めてまいりました。また、フクヤ HD グループは、プライズ事業の中でも特にオリジナルプライズやライセンスキャラクタープライズに関する企画等に強みを有し、その強みを生かした推し活（好きなアイドルやキャラクターなどを応援する活動）グッズを「fanfancy+」ブランドで展開し人気を博しているところ、GENDA GiGO Entertainment とコラボレーションした推し活グッズ専門ショップ「fanfancy+ with GiGO」は、近年のアニメ、アイドル市場の活性化に伴う国内外のお客様の推し活ニーズに応えた商品展開で好評いただいております。今後更に店舗網を拡大し市場ニーズに応えることにより、両社のブランド価値をより一層向上させるものと考えております。

この度の株式取得により、当社グループが運営するアミューズメント施設におけるプライズやオリジナル物販商品のラインアップ拡充が見込まれるところ、これにより、フクヤ HD グループの自社プライズの展開数量の拡大、それに伴う製造面・流通面での単品当たりのコスト減を期待できることから、両社の利益規模の拡大に資するものと考えております。

今後は、フクヤ HD グループを当社グループにおける「エンタメ・コンテンツ事業」の「キャラクターMD」を担うものと位置づけ、GENDA GiGO Entertainment が有するアミューズメント施設におけるプライズ選定力と店舗網の拡大力、フクヤ HD グループが有するプライズ及びオリジナル物販商品の企画力といった、両社が築いてきた基盤及びノウハウ等を共有しながら共同での商品企画などに取り組み、これまで以上に魅力あるプライズラインアップの拡充及びオリジナル物販商品の展開に努め、お客様に楽しんでいただけるアミューズメント施設づくりを目指してまいります。

(※1)「楽し場®」は株式会社 GENDA GiGO Entertainment の登録商標です。

2. 取得する子会社の概要

(1) 名 称	株式会社フクヤホールディングス		
(2) 所 在 地	東京都千代田区内神田1-6-10		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田中 敬一郎		
(4) 事 業 内 容	国内プライズ事業 キャラクターくじ・イベント物販事業 ライブエンタメ事業 eコマース事業		
(5) 資 本 金	10百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2017年12月7日		
(7) 持 分 比 率	田中敬一郎：93.8% 持株会：6.2%		
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当該会社は本書提出日現在、当社の発行済み株式数のうち0.34%を保有しております。	
	人 的 関 係	該当なし	
	取 引 関 係	該当なし	
(9) 最近3年間の財政状態及び経営成績			
決 算 期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
純 資 産	268百万円	289百万円	312百万円
総 資 産	308百万円	378百万円	390百万円
1株当たり純資産	4,469.91円	4,823.19円	5,205.71円
売 上 高	39百万円	27百万円	35百万円
営 業 利 益	32百万円	22百万円	28百万円
経 常 利 益	38百万円	29百万円	33百万円
当 期 純 利 益	38百万円	29百万円	33百万円
1株当たり当期純利益	639.72円	489.98円	561.01円
1株当たり配当金	196.15円	136.70円	178.50円

(参考) 取得する子会社及び孫会社を単純合算した最近3年間の財政状態及び経営成績

決 算 期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
純 資 産	790百万円	912百万円	1,117百万円
総 資 産	1,356百万円	1,635百万円	1,945百万円
売 上 高	1,513百万円	2,052百万円	2,922百万円
営 業 利 益	118百万円	187百万円	289百万円
経 常 利 益	149百万円	205百万円	322百万円
当 期 純 利 益	111百万円	150百万円	250百万円

※株式会社フクヤホールディングスは連結財務諸表を作成していないため、株式会社フクヤホールディングス、株式会社フクヤ、FUKUYA USA INC.、FUKUYA HONG KONG LIMITED、台湾福屋有限公司の財務指標を単純合算しております。そのため、上記の数値は、内部取引の相殺消去を行っていない数値となっております。なお、対象会社の決算月は3月であります。株式会社フクヤの決算月は1月であり、それぞれの事業年度末の財務指標を単純合算しております。また、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益につきましては、記載しておりません。

3. 取得の相手先の概要

(1) 氏名	田中敬一郎	
(2) 住所	東京都北区	
(3) 上場会社と該当個人の関係	資本関係	当社の発行済み株式数のうち、0.03%を保有する株主です。
	人的関係	該当なし
	取引関係	該当なし

4. 取得株式数、取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0株
取得株式数	60,000株
異動後の所有株式数	60,000株(所有割合100%)

※取得価額につきましては、当社の直前事業年度の末日における連結純資産額の15%を上回る金額であります。当事者間の守秘義務契約に基づき、非開示とさせていただきます。なお、取得価額につきましては、外部の専門家による株式価値評価及び法務・財務に関する調査の結果等を合理的に勘案の上、当事者間の協議を経て、決定しております。

5. 取得の日程

(1) 取締役会決議日	2023年12月15日
(2) 契約締結日	2023年12月15日
(3) 取引実行日	2024年1月下旬(予定)

6. 今後の見通し

本件に伴う当社グループの業績および財務状況に与える影響につきましては、軽微であると見込んでおりますが、事業の大幅な状況変化により財務的影響が生じる場合には、明らかになっ

た時点で速やかに開示いたします。

以 上